

見附市指定管理者管理運営状況評価結果

令和7年6月30日に管理業務の評価を行った結果は、次のとおりでした。

施設名	道の駅パティオにいがた		
指定管理者	株式会社 豊栄わくわく広場	所管課	農林創生課
評価対象年度	令和6年度		
【所管課の総合評価】			
合計得点	72.0	評価ランク	B
所管課の講評			
コロナ明けの経済活動ヘシフトし、コロナ前と同様の約112万人の入場者数を受け入れている。建物・設備の点検維持管理は適切に行われている。物価高により仕入額が対前年比1,091万円増となるが、甘味処六のテナント収入、運営の経費削減策により黒字を確保したことは評価できる。次年度も物価高や人件費増など厳しい経営状況が見込まれるが更なる売上増につながるよう積極的なイベント展開やPRの実施等により、収支黒字を引き続き目指してもらうとともに、施設全体としても利用者だけでなく、直売所納品者の要望・意見なども取り入れながら、さらなる改善を図っていく必要がある。 (重視した点) レストランの経常的な赤字と物価高の影響が継続し収支の悪化が懸念されたが、直売所での積極的な販売や経費削減に努めた結果、2,806千円の納入金を市へ収めることができた。			
【評価委員会の総合評価】			
合計得点	72.7	評価ランク	B
評価委員会の講評			
当該施設は、道の駅に農産物直売所、レストラン、および防災拠点を併設した多目的複合施設である。屋外の芝生部分は管轄外で、屋根のある部分と駐車場が指定管理施設の範囲である。入場者数はコロナ禍前のレベルに戻り、かなり多くの人々から入場してもらっている。指定管理者は、多方面にわたる設置目的を意識して、安全・安心に留意しながら施設を適正に運営している。アンケート調査により、利用者から意見、要望を収集し、クレームには可能な範囲で対処して、サービスの質向上に努めている。市民団体等と協働してイベントもこまめに実施しており、集客に努めている。レストランの運営形態を今一度変更したが、メニュー内容や価格について利用者から要望が寄せられており、既にいくつかの改善を行っている。今後も利用者から意向や意見を収集して、集客と収益の増加に繋げて黒字経営に転換していただきたい。市内には多くの企業や市民団体が存在しているので、これらの組織との協働、連携について、恵まれた施設環境を十分に活用して、より多くの入場者が得られるような事業、イベントを企画・運営してほしい。近隣にスマートインターや類似施設ができたこともあり、施設の経年劣化も進行しているので、施設運営が厳しくなることは避けられない。しかし、関係者や行政とも協働、連携して問題解決に努めていただきたい。コロナ禍以後、収支結果の黒字化が続いていることは、指定管理者の努力と責任感によるものと評価される。			

【総合評価】

- A：総合評価の結果、特に優れていると認められる。（合計得点が80点以上）
- B：総合評価の結果、優れていると認められる。（合計得点が70点以上80点未満）
- C：総合評価の結果、概ね適正であると認められる。（合計得点が60点以上70点未満）
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる。（合計得点が30点以上60点未満）
- E：総合評価の結果、かなり努力が必要であると認められる。（合計得点が30点未満）